

窓の断熱性能に4等級

経産省
省エネ促進、ラベル表示

経産省は環境に配慮した窓の普及を推進するため、断熱性能の高さに応じて製品を四段階に区分してラベルで表示する制度を導入する方針を

決めた。住宅メーカーなどガラス関連の製造・輸入業者などに働きかけ、四月の導入を目指す。消費者が断熱性能が優れた製品を選びやすいよう星

方法などを盛ったガイド

ラインを作成し、このほど関係業界に通知した。具体的には断熱性能を表示するのは、窓とガラス、窓の外枠となるサッシの三種類。熱を伝える速さなどに応じて、四段階に分ける。窓の断熱性が高ければ、冷房の設定温度を通常よりも高くしても涼しさは保たれるため、電力消費量を節約できる。

二〇〇六年度の家庭部門の温暖化ガスの排出は、京都議定書の基準年である一九九〇年度に比べ、三〇・四%増と対策が遅れており、新たな削減策が必要と判断した。